

災害時避難行動要支援者個別支援計画の作成をお願いしている事業所の皆様方へ

11月になり、朝晩がかなり冷え込むようになりましたね。

今のところ、日中は穏やかに晴れて心地よいのですが、これから冬にかけてラニーニャ現象の影響により大雪に備えが必要ともいわれています。紅葉もそろそろおしまい。事業所や個人のお車の冬用タイヤへの交換は是非、早めに。

また、新型コロナウイルス感染症の第5波がようやく収まり、「ようやくコロナ禍が明けた！」と喜びたいところですが、第6波もやがてやってくるとも言われています。引き続きの感染対策はお互い頑張っていきましょう。

さて、10月は1回お休みとなり、1月ぶりの通信となります。

今回の号は、皆様への個別支援計画作成への、改めてのお願いからでございます。

別添の、「市長からのメッセージ」のとおり、今回の個別支援計画の作成数は、10月末現在で89件と残念ながら低迷しております。

皆様方におかれましては、日々の通常のお仕事だけでも大変なところと思いますが、今一度、令和元年度の台風19号のときのことを思い出し、是非とも作成のご協力をお願い申し上げます（依頼文等は事業所宛てに改めまして別便で郵送する予定です）。

さて、話は変わりますが、日曜日の夜のテレビ番組で、関東地方が地震で沈没してしまう、という想定テレビドラマが今秋から始まっていますね。このところ、茨城県内でも実際に小さな地震がおきていますので、ちょっとドキドキさせられています。

しかし、現実にあっても、ここ数十年間での関東直下型地震の発生確率は非常に高いと言われてしています。皆さんは、地震災害への備えは万全でしょうか？

まずは、できることから始めましょう。寝室には上から落ちたりするものを置かない。また、運動靴の備えも忘れずに。家の中の倒れる恐れのある棚などの家具は耐震器具を用いて補強することをお勧めします。

そうは言っても、「のど元過ぎると…」の例えにもありますように、すぐに災害への備えは忘れてしまいがちです。また、普段からどれくらい発災時のイメージができるかにもよります。日曜日のテレビドラマはフィクションですが、地震に備えるためのイメージを膨らませるきっかけになるかもしれませんね。

【個別支援計画作成状況】（10月末時点）

- 現在の作成数：89 件
- 作成事業所数：17 力所
- 現在までの累計：909 件です。

以下の「市長からのメッセージ」もご一読いただきますようよろしくお願いいたします。

居宅介護支援事業所、障がい者相談支援事業所、在宅介護支援センター、地域包括支援センター、小規模多機能事業所、訪問看護ステーション等の皆様方へ

謹啓 皆様方には、時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

また、日ごろから医療・介護等の在宅サービスを必要とする古河市民の方々に対して、温かく手厚いご支援と、福祉行政へのご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、古河市では、令和元年度から災害時避難行動要支援者の個別支援計画の作成業務を、居宅介護支援事業所等を運営する法人を中心に委託し、避難行動要支援者やそのご家族に直接かかわっていただいている皆様方に、その役割を担っていただくという取組みを始めました。この制度は、今年で3年目を迎え、今年度の成果としては、訪問看護ステーションの看護師の皆様方にも、ご協力をいただけることになり、市内外の92か所の事業所の内、78か所の事業所が受託に応じていただきました。これらのご協力に、改めまして、心より感謝申し上げます。

今年度は古河市には大きな災害被害はありませんでしたが、令和元年度の台風19号の襲来時には、避難指示の発令に応じて避難した高齢者の方々から「この計画があったので、これに従って、早い段階から適切な避難行動をとることができてよかった」、「計画を作っただけであらかじめ避難行動の備えをしておく大切さを改めて認識した」という、ご感想もいただきました。これらは、ひとえに、個別支援計画の作成についての深いご理解と、高齢者・障がい者又はそのご家族に寄り添って、作成の労力を惜しまずご尽力を賜りました皆様方のお陰であると認識しております。皆様方からの本事業へのご協力につきましては、全国的にも、大変、注目され評価されているところでございます。

しかしながら、今年度につきましては、10月末現在で89件の作成にとどまり、令和元年度の実績458件、令和2年度の実績362件を大幅に下回っている状況にあります。その背景には、コロナ禍や第5波の感染拡大等の影響もあったかと思いますが、それ以外にも、「当該計画の必要性、重要性については理解できるものの、忙しく作成にかかる時間がない」、「作業・労力が負担である」、「事業所からの配慮や手当がない」という皆様方の思いに対する、当市の対応にも課題があるのではと思っています。これらの課題の解消に向けましては、今後も、少しでも改善が進むよう鋭意努力しておりますので、引き続きのご理解を賜りたく存じます。

当市の個別支援計画の作成業務は、各事業所の皆様方の、熱意のあるご対応がなくては実現しないものであり、また、官民、そして、地域の人々が協働して取り組む「地域共生社会」の実現に向けて、欠かすことのできない事業であると考えております。

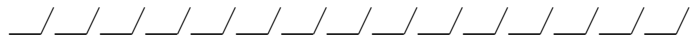
皆様方には、日々大変ご多用であるとは存じますが、この個別支援計画の作成につきまして、今一度、積極的なご対応をいただけますよう、ご検討のほど、よろしくお願いいたします。

末尾になりましたが、皆様方の今後ますますのご活躍をお祈り申し上げます。

敬白

令和3年11月19日

古河市長 針谷 力



古河市総和福祉センター「健康の駅」

福祉推進課 佐藤・後藤

電話：0280-92-5771

メール：fukushi.soumu@city.ibaraki-koga.lg.jp

